



JSB 1000

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

驚異的なタイムでダブルポールの中須賀克行

中須賀克行がレコードを大幅更新しダブルポールを獲得! 前人未踏の4連覇6度目の王座に王手!!

2015年の全日本JSB1000クラスは、ゼッケン1をつける中須賀克行の速さが強調されるシーズンとなっている。ここまで6戦中5戦でポールポジションから優勝を飾っており、その強さはシーズン終盤に入り、さらに増してきている。その原動力となっているのは、ライダー中須賀自身の速さはもちろん、今シーズン、フルモデルチェンジして投入されたYZF-R1のポテンシャル、そしてワークス活動を再開したYAMAHA FACTORY RACING TEAMという強化されたチーム体制と三拍子そろったことだと言えるだろう。

中須賀は、ヤマハMotoGPマシンの開発ライダーとしても重責を担っているが、そのこと自体中須賀が速さを磨くことに役立っている。MotoGPマシンからJSB1000マシンに乗り換えると、すべてがスローモーションに感じ、操作に余裕ができるという。それは、ニューR1になっても変わっていない。今週もMotoGPマシンのテストを行い、そのまま鈴鹿入りしたが、初日から本人がラップタイマーが壊れているのかと思ったくらい速いタイムで走り始めている。

優勝を果たした鈴鹿8耐の予選では、ポール・エスパルガロが2分06秒000を出し、中須賀は2分06秒059と僅かに及ばなかったが、現役MotoGPライダーと変わらない速さを見せていた。しかし中須賀は鈴鹿で自分自身が作り上げたマシンで負けたこと

が悔しかったと言う。今回のMFJ-GPIは、夏に比べれば気温も下がりエンジン、タイヤにはハード的によくなったが、Q2は、TOP10サバイバルで行われるだけにタイムを出すには、難しい部分もあった。そんな喧噪をよそに、中須賀は初日の1本目から2分06秒052と自己ベストを更新。金曜日には、ついに2分05秒台に突入し、2分05秒781をマークして土曜日の公式予選を迎えていた。

今年は、40分間のQ1でレース2のグリッドが決まり、Q1の上位10名が、6周で2台ずつ脱落して行くQ2・TOP10サバイバルに進出し、レース1のグリッドが決まるノックアウト予選で争われた。中須賀は、Q1で2周目のアタックでいきなり2分05秒192という驚異的なタイムをマーク。このタイムがベストとなるが、他車にひっかかったこと2輪専用シケインでミスをしたと語り、2分04秒台も夢ではなかった。2番手には同じYZF-R1を駆る野左根航汰がつけたが、中須賀との差は1秒423もついている状態。「中須賀さんを必死に追ったのですが、離されてしまい、いいタイムを出したという実感はなかったのですが、それがベストでした。レース1は短いですが、レース2でも中盤ぐらいまではタイムを落とさないで走れることを確認できているので、いいレースをしたい」と野左根。今シーズン最高の仕上がりとされているようだ。

開幕戦鈴鹿で唯一、中須賀に土をつけている津田拓也はQ1で3番手につけた。「開幕戦のときより確実にいいペースで走ることができているし、2分06秒台で連続して走れたことは自信になりましたが、それ以上に(中須賀は)速いですから」とコメント。以下、高橋巧、渡辺一樹、今回はTSRからエントリーしている渡辺一馬、秋吉耕佑、加賀山就臣、山口辰也と続きQ2に進出。柳川明、浦本修亮、中富伸一などは、ノックアウトされた形だった。

TOP10サバイバルは、ラップタイムの下位が2台ずつ脱落していく方式だったが、ここでも中須賀は、ただ一人2分05秒台に入れる走りでもトップを独走しダブルポールを獲得。2番手に2分06秒台を4度記録する走りをした津田がつけ、高橋が3番手グリッドを確保。市販キット車を駆る秋吉が4番手と健闘したのがトピックスの一つとなった。

レース1は10周という短期決戦、レース2は20周と変則的な周回数で行われるが、どちらにせよ中須賀の速さについて行くライダーは現れそうにないだけにレース1で中須賀の4連覇、6度目の全日本チャンピオンが決まる可能性が高いと言える。津田、高橋、渡辺一樹という各メーカーを代表するライダーが、どこまで中須賀を苦しめられるか!? 中須賀のワンサイドレースとなるか!?

2015年シーズン最後の戦いが間もなく始まる。



QUALIFYING PRACTICE Pole Position INTERVIEW

ポールポジション [Race 1]: 2'05.976
[Race 2]: 2'05.192

#1 中須賀克行

※「R」=ニューレコード

YAMAHA FACTORY RACING TEAM



『鈴鹿8耐でのデータをもとにレースウイークに入りましたが、それが間違いないものだったことが、初日からいいアベレージで走れたことで証明されました。今年のR1はポテンシャルが高いですし、その力を100%以上出せるようにボク自身も全力で走りました。今回は、特殊な予選方式でしたが、しっかりレコードを更新できてよかったですね。マシン、そしてブリヂストンタイヤの力を出し切れたと思います。MotoGP日本グランプリから岡山国際、そして今回と、いい流れで来ているので、自分の力を、そしてマシンを信じて最後の2レースに臨みます』

公式予選正式結果(決勝Race1)

- 予選: 天候 / 晴 路面 / ドライ 出走28台
- 決勝[Race1]スタート進行 / 11:00 (10周)

Pos	No	Rider	Team	Time
1	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	2'05.976
2	12	津田 拓也	ヨシムラスズキエルアドバンス	2'07.164
3	634	高橋 巧	MuSASHi RT/ハルク・プロ	2'07.091
4	090	秋吉 耕佑	au & テルル・Kohara RT	2'07.928
5	26	渡辺 一樹	Team GREEN	2'07.568
6	8	野左根 航汰	YAMALUBE RACING TEAM	2'07.645
7	33	藤田 拓哉	YAMALUBE RACING TEAM	2'07.854
8	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	2'08.448
9	53	渡辺 一馬	F.C.C.TSR Honda	2'08.331
10	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	2'08.448

以上 Q2 TOP10サバイバルにて決定:

11	87	柳川 明	Team GREEN	2'07.814
12	73	浦本 修充	MuSASHi RT/ハルク・プロ	2'08.484
13	85	中富 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	2'08.657
14	39	酒井 大作	CONFIA Flex Motorrad 39	2'08.859
15	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	2'09.105
16	18	出口 修	Snap-on TRICK STAR Racing	2'09.392
17	41	伊藤 勇樹	41Planning	2'09.804
18	54	中津原 尚宏	オートテクニクススポーツPGR	2'10.564
19	14	小島 一浩	Honda 熊本レーシング	2'10.691
20	135	寺本 幸司	Team Tras 135HP	2'10.757
21	25	武石 伸也	CONFIA Flex Motorrad 39	2'10.867
22	97	亀井 雄大	Honda 鈴鹿レーシングチーム	2'10.900
23	23	清水 郁巳	ホンダ・リム高崎B'WISE RT中央前橋	2'11.536
24	136	児玉 勇太	Team Tras 135HP	2'11.922
25	11	吉田 光弘	Honda 熊本レーシング	2'11.935
26	13	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	2'13.839
27	19	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	2'14.527
28	36	原田 洋孝	RSガレージハラダ姫路	2'14.877

以上予選通過車両:

予選通過基準タイム (Q1 110%) 2'18.818

★JSB1000[Race1]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q2・トップ10サバイバルまで終了した順となります。

注目のタイトル争いの行方は?

●2015年全日本選手権各クラスランキング上位
(第8戦岡山国際大会終了時の暫定)

JSB1000

Pos.	No.	Rider	Total	Race1	Race2
1	1	中須賀 克行	147		
2	634	高橋 巧	107		
3	8	野左根 航汰	92		
4	26	渡辺 一樹	91		
5	12	津田 拓也	79		
6	104	山口 辰也	79		
7	87	柳川 明	77		

J-GP2

Pos.	No.	Rider	Total	Race
1	1	高橋 裕紀	100	
2	2	生形 秀之	98	
3	44	関口 太郎	81	
4	10	岩田 悟	78	
5	18	渥美 心	73	

ST600

Pos.	No.	Rider	Total	Race
1	6	横江 竜司	88	
2	46	Decha KRAISART	72	
3	14	前田 恵助	68	
4	39	大久保 光	58	
5	65	Chalernpol POLAMAI	53	

J-GP3

Pos.	No.	Rider	Total	Race
1	634	水野 涼	87	
2	39	真崎 一輝	86	
3	12	栗原 佳祐	77	
4	31	Gerry Salim	60	
5	55	國峰 啄磨	57	

●全日本ロードレース選手権ポイント

優勝 (25) 2位 (22) 3位 (20) 4位 (18) 5位 (16)
6位 (15) ...以下20位まで1点刻み...20位 (1)

※MFJ-GPでは、各順位にボーナスポイント3点がそれぞれ加算



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

真崎一輝が今季2度目となるポールポジション!! 「最初からガンガン飛ばして優勝して決めたい」



真崎一輝

40分間1セッションのJ-GP3公式予選。ランキングトップの水野涼、それを1ポイント差で追う真崎一輝、そして國峰啄磨の3人が序盤からポールポジション争いを展開する。序盤、2分18秒770をマークしてトップを奪った水野涼から、18秒285をマークして再びトップを奪い返した真崎。國峰は3番手にいるものの、19秒256と今ひとつタイムが上がらない様子。ベテランの宇井陽一が、当初から好タイムをマークしており、19秒480で4位をキープしている。

セッションの終盤、各ライダーとも最後のタイムアタックを敢行、真崎はチェッカーラップに18秒211までタイムを更新。今季第2戦(クラス初戦)の

オートポリス以来2度目のポールポジションを獲得した。2番手は序盤にマークしたタイムで水野、3番手は最終アタックで19秒146まで更新した宇井が奪った。



水野涼



ポールポジション: 2'18.211

#39 真崎一輝

Team RSC

『鈴鹿は去年から地方選手権で走っているので、マシンのセッティングはだいたい見つかっていました。木曜日からそのセッティングで走り込み、金曜日でも少しずつ変えながら確認を進めてきました。ただ思ったよりもタイムが上がりが切れなかったのも、そこは悔しいですね。それでも、ポールポジションを取れたので良かったです。レースでは最初から飛ばして、オートポリスのように逃げ切れたらと考えています。チャンピオンもかかっているんで、優勝して決めたいと思います』

J-GP2
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

高橋裕紀、ニューレコードでポールポジション!! 「決勝はいつも通り、全力でしっかり走りたい」

高橋裕紀



1セッション40分間のJ-GP2クラス公式予選。真っ先にコースインしていった高橋裕紀が、まずはトップに立つ。しかし、今季好調な渥美心が3周目に2分10秒891と早くもレコードタイムをブレイクしてトップを奪う。ところが渥美は、その後S字でマシンをコースサイドで止めてしまった。一旦2番手に後退した高橋だったが、その後は走る毎にタイムを削り取り、中盤の攻撃で10秒721でトップを奪い返すと10秒067までタイムアップ。

セッション終盤に各ライダーがアタックを行なう中、岩崎哲朗が10秒966と10秒台に入れて、日浦

大治朗から3番手を奪う。高橋はその後アタックを続け、9秒台に突入させると、最後は9秒529までタイムを更新して、連続ポールポジション獲得を「6」に伸ばした。

渥美はトラブルのためその後は走れなかったが、序盤にマークしたタイムのまま2番手グリッドとなった。3番手は岩崎、次いで日浦、2ポイント差で高橋とタイトルを争う生形秀之は最後にタイムアップして5番グリッドとなった。さらに、岩田悟、関口太郎、作本輝介と続く。



ポールポジション: R2'09.529

#1 高橋裕紀

※「R」=ニューレコード

MORIWAKI RACING

『チームとの事前のミーティングで9秒台を出そうと目標にしていました。しかし、初日から頑張っても11秒台しか出ていなくて、ちょっと遠いかな、とも考えたんですけど、走り込むたびに、セッティングがうまく進んでいって、各セッションでタイムアップでき、最後は目標だった9秒台、しかも半ばまで上げることができたので、満足しています。頑張ってくれたチームにも感謝です。ドライの鈴鹿は久々ですし、サスやタイヤのチョイスも変わっていて、初日からしっかりと走れたのがよかったんだと思います。決勝はいつも通りレースタイムを目標に全力で走り切りたいと思います』

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW



前田恵助が地元鈴鹿でポールポジションを獲得 「決勝は、スタートを決めれば逃げ切れる!」

前田恵助



鈴鹿では初めてとなる新方式でのST600クラスの公式予選。まずは全車走行してQ2セッションへの順位を決めるQ1セッションが開始。各車ともほぼアタックラップは1周と想定して、コースインのタイミングを見ながら時間が進んでゆく。その中でまずは奥野翼が2分15秒059でトップに立つが、後半で続々とライダーがアタックを開始。結局、Q1は横江竜司が2分13秒956でトップとなった。Aグループとなる12番手には最終ラップでタイムアップした井上拓海が滑り込んだ。

15分のインターバルを経て始まった最終グリッドを決めるQ2セッションも、クリアラップを狙って各ライダーのタイミングで僅かワンラップのアタ

ック戦が展開された。その中で鈴鹿を地元とする前田恵助が早々に2分13秒966のタイムでトップに立つ。2番手にはデチャ・クライサーで2分14秒764。その後時間が半分を切った頃、続々とアタックが始まる。大久保、再びアタックに臨んだデチャ、横江、榎戸育寛らがタイムアップして激しく順位が入れ替わるが、最後に近藤湧也がアタックを見せ2分14秒161に更新して2番手に浮上。しかし、前田のタイムを上回るライダーは現れず、初めてのポールポジションを獲得した。3番手には榎戸、大久保のホンダ勢が続いた。タイトル争いのデチャと横江は5番手、6番手で決勝レースに臨む。



ポールポジション: 2'13.966

#14 前田恵助

伊藤レーシングGMDスズカ

『地元鈴鹿ということで、木曜日からしっかり走れ、マシンも作り込むことができました。金曜日も中古タイヤでロングランを行なって土曜日の予選もタイムを出せたので、よかったと思います。初めてのフロントロウ、しかもポールポジションですから、非常にうれしいです。前に誰もいない状態なので、少し上がりそうですが、しっかりとスタートを決めたいと思います。決勝はスタートさえ決める事ができれば、トップにいられると思いますので、ペース配分も考えて、最後までトップについてチェッカーを受けられるようなレースにしていきたいです』

MFJ Superbike Final Round MFJ Grand Prix in SUZUKA 31 Oct. - 01 Nov. 2015 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台
●決勝[Race2]スタート進行/15:00(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	R 2'05.192
2	8	野左根 航汰	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	2'06.615
3	12	津田 拓也	ヨシムラスキシャルアドバンス	GSX-R1000L5	2'06.788
4	634	高橋 巧	MuSASHi RT/ハルク・プロ	CBR1000RR	2'07.179
5	26	渡辺 一樹	Team GREEN	ZX-10R	2'07.218
6	53	渡辺 一馬	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	2'07.220
7	090	秋吉 耕佑	au & テルル・Kohara RT	CBR1000RR	2'07.280
8	33	藤田 拓哉	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	2'07.608
9	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'07.634
10	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	2'07.788
11	87	柳川 明	Team GREEN	ZX-10R	2'07.814
12	73	浦本 修充	MuSASHi RT/ハルク・プロ	CBR1000RR	2'08.484
13	85	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	2'08.657
14	39	酒井 大作	CONFIA Flex Motorrad 39	S1000RR	2'08.859
15	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000	2'09.105
16	18	出口 修	Snap-on TRICK STAR Racing	ZX-10R	2'09.392
17	41	伊藤 勇樹	41Planning	YZF-R1	2'09.804
18	54	中津原 尚宏	オートテクニクススポーツPGR	CBR1000RR	2'10.564
19	14	小島 一浩	Honda 熊本レーシング	CBR1000RR	2'10.691
20	135	寺本 幸司	Team Tras 135HP	S1000RR	2'10.757
21	25	武石 伸也	CONFIA Flex Motorrad 39	S1000RR	2'10.867
22	97	亀井 雄大	Honda 鈴鹿レーシングチーム	CBR1000RR	2'10.900
23	23	清水 郁巳	ホンダドリーム高崎B'WISE RT中央前橋	CBR1000RR	2'11.536
24	136	児玉 勇太	Team Tras 135HP	S1000RR	2'11.922
25	11	吉田 光弘	Honda 熊本レーシング	CBR1000RR	2'11.935
26	13	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R	2'13.839
27	19	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	2'14.527
28	36	原田 洋孝	RSレーシングハラダ姫路	ZX-10R	2'14.877

以上予選通過車両:

"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'06.103

予選通過基準タイム (110%) 2'18.818

★JSB1000[Race2]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q1にて記録されたタイム順です。



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走21台
●決勝スタート進行/13:55(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	MD600	R 2'09.529
2	18	瀧美 心	au & テルル・Kohara RT	TSR 2	2'10.891
3	70	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'10.966
4	35	日浦 大治朗	MORIWAKI RACING	MD600	2'11.388
5	2	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	GSX-R MFD6	2'11.508
6	10	岩田 悟	NTST.ProProject	NH6	2'11.586
7	44	関口 太郎	MISTRESA with HARC-Pro.	HP6	2'11.879
8	75	作本 輝介	Team 高武 RSC	CBR600RR	2'12.683
9	9	大木 崇行	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'12.718
10	81	上和田 拓海	Webikeチームノリック ヤマハ	YZW-N6	2'12.819
11	19	中本 翔	リリカAMENA with OUTFUN	YZF-R6	2'12.897
12	15	佐藤 太樹	Team Plusone	TSR 2	2'12.931
13	11	井筒 仁康	Will-Raise Racing RS-ITOH	ZX-6R	2'13.080
14	95	石塚 健	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'13.244
15	16	中村 豊	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'13.798
16	71	山元 聖	Team KAGAYAMA	GSX-proto71	2'13.966
17	392	長尾 健吾	ミクニ デリー&カリー	GSXR600	2'14.267
18	46	星野 知也	SYNCEEDGE 4413	HP6	2'14.421
19	36	亀井 駿	NTST.ProProject	NH6	2'17.366
20	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	Z600	2'18.825
21	29	赤岡 清	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	2'19.684

以上予選通過車両:

"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'11.191

予選通過基準タイム (110%) 2'22.481



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台
●決勝スタート進行/10:00(12周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	14	A-1	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	2'13.966
2	9	A-2	近藤 湧也	GBSレーシング・YAMAHA	YZF-R6	2'14.161
3	38	A-3	榎戸 育寛	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'14.185
4	39	A-4	大久保 光	Ymobile&Kohara RT	CBR600RR	2'14.262
5	46	A-5	Decha KRAISART	ヤマハタイランド Racing Team	YZF-R6	2'14.470
6	6	A-6	横江 竜司	ヤマハタイランド Racing Team	YZF-R6	2'14.490
7	65	A-7	Chalermpol POLAMAI	ヤマハタイランド Racing Team	YZF-R6	2'14.764
8	16	A-8	奥野 翼	AKENOSPEED.MIC	YZF-R6	2'14.789
9	7	A-9	稲垣 誠	AKENOSPEED.MIC	YZF-R6	2'14.880
10	27	A-10	高橋 颯	Team Plusone	CBR600RR	2'15.483
11	45	A-11	岩戸 亮介	Team 高武 RSC	CBR600RR	2'15.844
12	77	A-12	井上 拓海	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR600RR	2'16.260
13	54	B-1	田尻 克行	Team RSC	CBR600RR	2'14.999
14	24	B-2	中本 都	リリカ AMENA with OutRun	YZF-R6	2'15.825
15	47	B-3	北見 剣	エスバルスドリームレーシング	GSX-R600	2'16.044
16	12	B-4	津田 一磨	Team TSUDA	GSX-R600	2'16.538
17	124	B-5	北岡 慎也	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	2'16.667
18	82	B-6	名越 哲平	MuSASHi RT Jr.	CBR600RR	2'16.693
19	40	B-7	伊藤 和輝	Ymobile&Kohara RT	CBR600RR	2'17.834
20	51	B-8	宗和 孝宏	51ガレージ チームイフキ	YZF-R6	2'17.914
21	70	B-9	清末 尚樹	豊後なしかレーシング倶楽部	ZX-6R	2'18.115
22	43	B-10	鈴木 力	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'18.298
23	73	B-11	水澤 笑太郎	MuSASHi RT Jr.	CBR600RR	2'18.990
24	56	B-12	森中 忍	Fresh Paint+B~dash106+LW	CBR600RR	2'19.130
25	50	B-13	櫻井 賢一	ホンダドリーム高崎B'WISE RT中央前橋	CBR600RR	2'21.208
26	41	B-14	澤村 俊紀	ホンダドリーム高崎B'WISE RT中央前橋	CBR600RR	2'21.299

以上予選通過車両:

15 B 中山 真太郎 TEAMしんたろう with KRT CBR600RR 2'16.756

32 B 矢田 栄一郎 GBSレーシング・YAMAHA YZF-R6

予選通過基準タイム (Q1 110%) 2'27.351



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走29台
●決勝スタート進行/12:00(12周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	39	Y	真崎 一輝	Team RSC	NSF250R	2'18.211
2	634	Y	水野 涼	MuSASHi RT/ハルク・プロ	NSF250R	2'18.770
3	410	-	宇井 陽一	41Planning Global Communication	TR004	2'19.146
4	55	Y	國峰 琢磨	P.MU 7C HARC	NSF250R	2'19.256
5	40	Y	三原 壮紫	TEAM NOBBY & TEC2	NSF250R	2'19.451
6	31	-	Gerry Salim	Astra Honda Racing Team	NSF250R	2'19.685
7	4	-	徳留 真紀	CLUB PLUSONE	NSF250R	2'19.769
8	10	-	古市 右京	KTM RACING. ASPIRATION	RC250R	2'19.913
9	12	Y	栗原 佳祐	MuSASHi RT Jr.	NSF250R	2'20.065
10	22	-	岡崎 静夏	Ymobile&Kohara RT	NSF250R	2'20.247
11	26	Y	関野 海斗	P.MU 7C HARC	NSF250R	2'20.504
12	28	-	安村 武志	犬の乳酸菌.jpプリミティブR.T	PRCS3	2'20.617
13	24	Y	船田 俊希	FLEX Racing TEAM	NSF250R	2'20.622
14	11	-	菊池 寛幸	TEAM TEC2 & NOBBY	NSF250R	2'20.986
15	77	-	大澤 恒貴	team hirock & HARC	NSF250R	2'21.805
16	17	-	津田 農央	TEAM-i-FACTORY	NSF250R	2'21.947
17	23	-	高杉 奈緒子	モトバムwithヒボボタマス	NSF250R	2'22.090
18	20	-	山本 恭裕	チームライフドリーム北九州	NSF250R	2'22.126
19	45	Y	太田 虎之進	CLUB PLUSONE	NSF250R	2'22.585
20	30	Y	中山 愛理	TECHNICA with KUSHITANI西宮	NSF250R	2'22.635
21	21	-	大内田 拓	オーテック・スズカ+RGニワ	NSF250	2'22.871
22	34	-	岸田 慶一	FLEX Racing TEAM	NSF250R	2'23.172
23	37	-	川瀬 啓一郎	チームKOHASAKA	NSF250R	2'23.275
24	36	-	野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	2'24.303
25	47	-	古澤 幸也	FLEX Racing TEAM	NSF250R	2'24.765
26	78	-	井上 学	UNLABEL TeamALTEC ASH	NSF250R	2'24.807
27	32	-	畑中 要	FTR・タイヤナビ・株連藤住宅	NSF250R	2'26.231
28	48	Y	布施 元紀	ENDLESS TEAM SHANTI GP3	NSF250R	2'26.260
29	44	-	小沢 良美	GARAGE.M&南石原商店	NSF250R	2'26.346

以上予選通過車両:

Y=ユースカップ登録ライダーを示す。

予選通過基準タイム (110%) 2'32.032

INFORMATION



今年も全日本ロードレース完全無料放送!!
今シーズンはレース6日後の土曜日夜7時から!

2015年シーズンも全日本ロードレース選手権シリーズ全戦を「BS12 TwelIV(トゥエルビ)」で完全無料放送。しかも、今シーズンはレース開催6日後の土曜日夜7時から放送です!
迫力のバトル、車載カメラによる映像などをお楽しみください!!

■放映スケジュール

第9戦鈴鹿MFJ-GP 11月7日(土) 19:00~19:55

ますます充実するインターネット動画!!

USTREAM

コース監視カメラの映像と実況アナの音声で予選・決勝をライブ配信! スマホ対応です。

YouTube

YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

MFJ Live CHANNEL

TV収録用高画質映像を決勝レース終了後約1時間後に配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

